

いぬはりこ

けがの原因は子どもたちの姿勢から
——所沢文化幼稚園の取り組み

協調性や創造性を育む
すくすく砂場あそび

優しい工夫がいっぱい
子どもが思いっきり遊べる体操服を

CREATOR'S VOICE

刀根里衣インタビュー

ミラノを拠点に
活躍する絵本作家
刀根里衣の世界



CREATOR'S VOICE

刀根里衣
インタビュー

ミラノを

拠点に活躍する

絵本作家

刀根里衣の世界

イタリアのミラノを拠点に、創作に取り組んでいる絵本作家の刀根里衣さん。刀根さんの絵本は、世界中で愛され翻訳出版されています。そんな刀根さんに作品への想いを伺いました。

イラストレーターになりたいと思ったのは9歳の時。小さい頃からチラシの裏に絵を描いていました。

——2017年に制作いただいた、『あゆみ(フレンド)』には、絵本のキャラクターたちが登場していますね。『モカ』と『あわせのコーヒー』という絵本がイタリアで出版され、そこに登場する白いうさぎモカと、そのあとの絵本で出てくる友だちの茶色いマローネ、その2匹をお菓子の世界で遊ばせたいと思って描きました。忙しくない時には、たまに自分でもお菓子を作っています。クッキーやケーキが焼き上がってくる匂いが好きなんです。『あゆみ』で描いた世界と近いチョコレートとクッキーのレシピがついた小さな絵本は、日本でも翻訳出版される予定です。

——絵本作家になりたいと、いつ頃から思うようになったのですか？
絵本のことを考えるようになったのはずっとあとですが、イラストレーターになりたいと思ったのは9歳の時です。ペンギンが大好きで、9歳までは南極探検家になりた

いと思っていました。でも理科が苦手、これで南極探検家は無理だと。それでイラストレーターに。上手ではなかったのですが、絵を描くのは小さい頃から好きで、よく姉といっしょに、新聞に入っていたチラシの裏に絵を描いていました。かなり引込み思案だったので、言葉にできない部分を、絵で描いていたのかもしれない。

——そして、美術の学校へ進まれたのですか？

大学に入ると周りは絵のうまい人や美術やデザインをよく知っている人ばかりで、落ちこぼれてしまった気持ちになりました。課題はちゃんとやっていたのですが、先生にはいつも酷評され、ずっと自分の作品に向かうことをしていませんでした。それなのに卒業したらイラストレーターになろうとしていて、先生から「こんな絵でやっていけると思っているのか？」と怒られました。こ

れではいけないと思い、先生から言われた「得意なものをまずはポストカードサイズで100枚描いてみる」という言葉を受けて、絵を描き出しました。好きな鳥をモチーフにして、100枚には届きませんでした。70枚以上は描いたと思います。この頃から絵本につながる、背景を描き込む絵を描きはじめました。

——絵本を出版するきっかけとなったのはどんなことですか？

大学卒業後、子ども服の会社でグラフィックデザインの仕事を始めました。家に帰ると絵を描いて、密かに絵のコンペなどに応募していました。2年勤めた後、英語の勉強と、絵を描く時間を作るために1年イギリスへの語学留学を決めます。そして、イギリスから初めてポロニーヤの子どもの本のブックフェアへ行きました。ポロニーヤ絵本原画展には日本に居る時に応募していた、イ



PROFILE

刀根里衣 (とね さとえ)
1984年、福岡県生まれ。2007年、京都精華大学デザイン学部ビジュアルコミュニケーション学科卒業。2010年、ポロニーヤ児童書ブックフェアで、自作の絵本サンプルがイタリア人編集者の目にとり、翌年、絵本作家としてデビュー。2012年から2年連続でポロニーヤ国際絵本原画展に入選、2013年には、日本人で初めて国際イラストレーション賞を受賞。現在、イタリアのミラノを拠点に活躍している。

ギリスから近いこともあり、この機会にと。でも作品を何枚か持参して出版社のブースで見てもらおうとしたら、「絵本の形になっていないのだめだ」と、ちゃんとは見てもらえませんでした。そして翌年は今度こそと、絵本の形にして再び日本からポロニーヤ・ブックフェアへ行き、幸運なことにイタリアの出版社が絵本を出してくれることになりました。それがデビュー作の『なんにもできなかったとり』です。そして、イタリアに拠点を移しました。

右ページ、2017年度『あゆみ(フレンド)』に登場するモカ(右)とマローネ(左)。

刀根里衣さんが制作したジャクエツの自由画帳の表紙(写真右)、2017年度『あゆみ(フレンド)』(写真中央)、2015年度『あゆみ(ニューアート)』(写真左)。本紙の表紙は、『あゆみ(フレンド)』の絵で構成。





「前に進め」(ジークレー版画)

描き込みすぎない
表現にチャレンジ
してみました

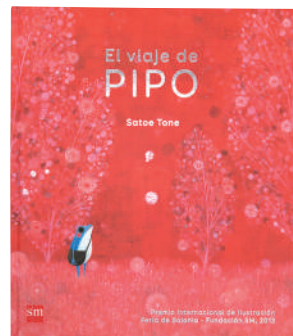


「Air balloons」(アクリル絵の具、色鉛筆)

子どもたちには、
自分が素直に思った感想を
大切にしてほしいと思います。

刀根里衣さんの 絵本の作品

『Questo posso farlo』(写真右/
イタリアで出版。日本版では『な
んにもできなかったとり』)、『El
viaje de PIPO』(写真中央/イタリ
アで出版。日本版では『びっぼのた
び』)、『コリスくんのかみひこうき』
(写真左/2017年に小学館から出版
された最新作。日本での作絵の絵本
としては初めての作品)。



2017年秋に、ピンポイント
ギャラリーで開かれた個展
「えほんのそとがわ」より

初めて
描き下ろしの絵で
個展をしました

個展に展示した
作品です

絵本づくりは、頭の中にぽっと浮かんで
描きたいと思った絵からはじまります。

——絵本づくりの仕方を教えてください。

絵本は、まず描きたい絵が頭の中
にぽっと浮かび、そこから考えてい
くことが多いです。最初に思いつい
た絵はすぐ描けても、絵と絵の間を
つなぐページの絵を考えるのは、苦
労することもあります。イタリアで
最初の出版が決まった時は、イラス
トレーションとしてただ絵を描いて
いただけなので、そこからずっと試
行錯誤しながら絵本づくりをしてい
ます。

——新作絵本『コリスくんのかみひ
こうき』は、元気な感じのする絵本
ですね。

今回は、リスの子を主人公にした
ものを作りたいというところから出
発しました。次に考えたのは、コリ
スクんの気持ちの変化を描きたいと
いうこと。誰にも触れたくない大
事なものがあつたけれど、いざ、み
んなで遊んでみたら楽しかったとい
う話にしたらどうかと。そして、コ
リスくんが、工作で作れるものがな
いかと考えて、紙飛行機を思いつき
ました。コリスくん、才能があるの
か、けっこうアーティスティックな
紙飛行機になっています。

——色使いもこれまでになくビビッ
ドですし、絵本全体のムードも変わ
りましたね。



——描き下ろした絵の個展を初めて
されました。「えほんのそとがわ」と
いうタイトルにしたのなぜですか？
ずっと絵本の絵だけを描いてきた
ので、絵本と少し離れたところで絵
を描いてみたいと思ったからでし
た。例えば、今まで一度も使ったこ
とがなかった黒い絵の具を使ってみ

リスミカルな絵にしてみたいと考
えました。今回は、お話自体も子ど
もにも読んでもらえそうなものを
と、意識したところがあるので、そ
れに合った絵にできたらいいなど。

——子ども向けを意識して絵本を作
られたのは初めてですか？

これまでは誰に向けてということ
は特に考えていなくて、自分の好き
なものをただずっと描いてきたと思
います。背景をいっぱい描き込むス
タイルを続けてきましたが、描き込
むだけでは伝わらない部分もあるか
もしれないと考えはじめました。一
度、引き算をして整理してみようと、
それにチャレンジしたのが今回の絵
本です。

けがの原因は 子どもたちの姿勢から

所沢文化幼稚園の取り組み

「姿勢を正しくすることで、子どもたちのけがを減らす」という、新しい取り組みをしている幼稚園に取材に行ってきました。

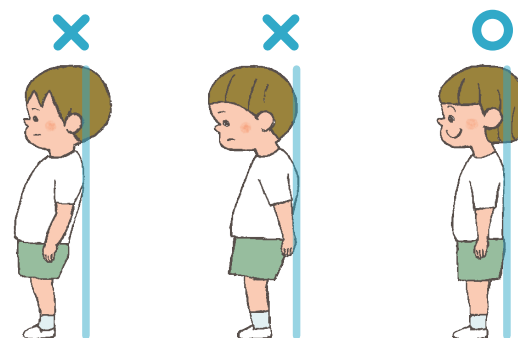
けがが多い 原因のひとつに子どもの 身体のゆがみがあった

6つの幼稚園と3つの保育園、自然観察園を持つ学校法人の所沢文化幼稚園には、およそ2000人の子どもたちが通っています。今から10年程前、理事長の梅沢好文先生は、子どもたちのけがが多いことに心を痛めていました。けがで病院に行ったり、手当が必要だったりする子どもが、年間でおよそ50人もいたのです。昔は、これほど多くありませんでした。けがを減らすことはできないだろうか、先生は子どもを観察して様々な原因を考え、昔と今の環境の違いで、子どもの身体が変わっ

たことが原因だと気づきました。今は大変便利な世の中になり、おむつも紙おむつが主流で、これだと替える回数が少なくて済みます。しかし、そのために子どもが足を上げ下げする運動が著しく減りました。また、子どもは、おんぶをされたり、ハイハイをしたりすることで、筋力をつけていきます。しかし、今はおんぶよりもだっこをする親がほとんどです。家に様々な家具が増えたことで、それにつかまって早い時期から立つ子どもも増えました。筋力がつき、身体の重心がしつかりする前に、歩いてしまうのです。

所沢文化幼稚園にも、不自然な歩き方をする子どもがたくさんいました。靴を斜めにし、地面にあまり

正しい 姿勢



重心が後ろにあり、
身体が反っている。

重心が前にあり、
背中が丸く猫背。

重心がまっすぐで、
正しい姿勢。



梅沢好文先生

学校法人所沢文化幼稚園理事長。2011年より、堂が観察できる自然観察園などを開園した梅沢定彦氏（現在の学園長）に代わり理事長となる。子どもの健康を考えた、姿勢の指導に取り組んでいる。

背筋をピッと伸ばしていい姿勢！



足の裏をつけずに歩く子ども、背中を丸めて歩く子ども。人間には何かが欠けても、それを補い成長する力があります。重心がずれていても歩けてしまうのです。しかし、それは当然転びやすくなります。梅沢先生は、2000人の子どもたちの姿勢を写真に撮ることにしました。気をつけの姿勢を前からと横から、そして座った時の姿勢を撮影して、写真にまっすぐ線を引いて身体のゆがみを調べてみました。すると、姿勢がまっすぐきれいな子どもが、ひとりしかいなかったのです。

正しい姿勢は、 けがを減らし子どもを 大きく成長させる

転ばない、ゆがみのない身体をつくるために、まず座る姿勢から取り組みました。しかし、ただ「正しい



姿勢で座りなさい」といっても、身体にくせがついているので、すぐ姿勢をくずしてしまいます。先生方は子どもたちが椅子に座ったら、腰に手を当ててひとりずつ声かけをすることにしました。「姿勢がよくなる、かけっこが速くなるよ」「サッカーがうまくなるよ」というように、子どもたちが目指したくなるような目的を示しました。ひとりずつ話をすることで、もれなく確実に伝えることができ、この先生は自分にとって何かをしてくれる人だという信頼も生まれます。取り組み始めて1週間、梅沢先生に「先生、走るのが速くなったよ」と嬉しそうに、走る姿を見せにきた子どもがいきました。先生は、「自分たちの仕事が子どもを変えることができるんだ」と涙が出るほど嬉しかったそうです。

所沢文化幼稚園で姿勢を正す試みを始めてから、1年でびっくりするほどの効果が出ました。けがをする子どもが、年間でおよそ50人から3人にまで減ったのです。姿勢がよくなると、子どもの移動距離が変わり、運動能力が上がりました。自然観察園には、巨大なローラー滑り台があるのですが、長さが

巨大な ローラー滑り台 だよ！



71メートルもあるので、姿勢の取り組みを始める前の子どもたちは、1回滑ると大抵が疲れてしまって、繰り返し滑る子どもはあまりいませんでした。ところが、姿勢の取り組みをした園の子どもたちは、何度も繰り返し滑り、最高で9回も挑戦する子どもがいきました。運動能力が上がり動きが活発になると経験が増え、情報量も増えます。情報量が増えると、しゃべる量が増え、友だちとのコミュニケーションがうまくできるようになりました。また、体力がついたことで、探索行動が増えていきました。

小さい頃から 正しい姿勢を身につける

「座るだけで腰骨が立ち、姿勢がよくなる椅子があったら、小さい頃から、自然に正しい姿勢を身につけることができるのに」。ビットチェアは、そんな梅沢先生の声がかきつけで生まれました。ビットチェアは、正しい姿勢で座ると、居心地がいいように作られているので、子どもは、自然に正しい姿勢を身につけることができます。

また、姿勢のくせは、大人より子どもの方が直しやすいので、先生方は、ご家庭でも親子いっしょに取り組んでいたけりよう、保護者の方にお伝えしているそうです。

姿勢がピッと よくなる ビットチェア



深く腰掛けると、
腰が腰板に当たり、腰骨が立ちます。

姿勢がよくなると子どもは大きく成長する



探索行動が活発になる



コミュニケーション力がつく



運動能力が上がる

砂場あそびアイデア

子どもたちがコミュニケーションを取り合い、遊びを発展させていく砂場あそびを紹介します。シャベルやスコップ、バケツ、ふるい、型抜き、容器、じょうろなどを用意してあげるとよいでしょう。

STEP 1

足湯ごっこ

感覚を育てるあそび

冷たくて
気持ちが
いいね



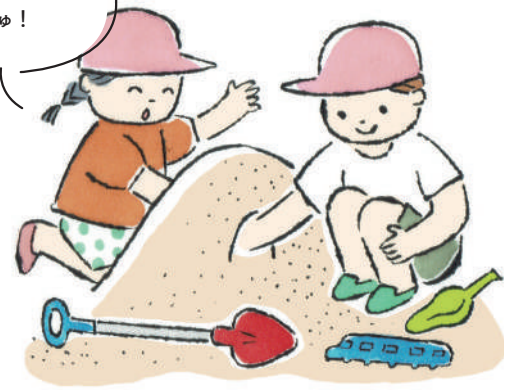
0才児から始められる遊びです。裸足になって砂場に入り、まず砂の感触を楽しみましょう。慣れてきたら砂を少し掘って足を入れ、友だちと（最初は保育者でも）砂をかけあい、足を埋めて遊びます。上の砂よりも少し冷たい砂の感覚を、共有しましょう。

STEP 3

山のトンネル作り

友だちと協力するあそび

つながったね。
あくしゅ！



3〜4才児になると、友だちと協力して遊ぶことができます。いっしょに山を高く盛って、両端からトンネルを掘っていきます。トンネルがつながって手をつないだ時、喜びを友だちと共有することができます。道を延ばして線路を作れば、電車遊びにも発展します。

STEP 2

ままごとあそび

見立てからごっこあそびへ

どんぐり
ケーキをどうぞ



容器に砂を入れたり、型抜きでいろいろな形を使ったりして、ケーキやプリンに見立てて遊びます。木の実や草花など、季節のもので飾ってもよいですね。2才児くらいからは、ごっこ遊びに発展させて、友だちとのやりとりを楽しめるようになるでしょう。

STEP 4

砂で箱庭をつくる

数人で役割分担をして作る

みんな
水を流すよ！



5才児になると、大勢で何かを作ることができるようになります。様々な道具を使い、役割分担をして山やダムを作ったり、池を掘ったりして楽しみましょう。保育者が大きな山を作り、きっかけを作ってもよいでしょう。友だちとの共同作業は、大きな達成感を生みます。

協調性や創造性を育む すくすく 砂場あそび

砂場は子どもの感覚や協調性を育み、子どものイメージを広げてくれます。砂場で多くのことを学ぶ子どもたちに、どのような援助が必要なのでしょう？

感覚を育てる

砂場は、子どもたちがたくさんのことを学べる場所です。保育者の見守りがあれば、砂場あそびは0歳児から始められます。手や足で砂に触れて、感触を楽しむだけで、子どもの感覚はどんどん発達します。嫌がる子どもには、無理強いせず、砂場で遊ぶ友だちをいっしょに見ることから始めましょう。保育者が砂に触ってみせ、「気持ちがいいよ」と話しかけてみてください。砂場に行く機会を重ねることで、だんだんと慣れていくでしょう。

感覚を共有していきましょう。砂の質感や温度などを感じ取り、砂の性質を知ると、あそびが広がっていきます。

基本的な運動能力を育む

小さな子どもにとって、じょうずに物をつまんだり握ったりすることは、とても難しい動作です。シャベルで砂をすくって、バケツに入れるためには、もう片方の手でバケツを押さえながら、シャベルを持った手首を返さなければなりません。道具をうまく使えない時は、保育者がやってみせるとよいでしょう。砂場で何度も失敗しながら繰り返し遊ぶことで、指の細かな使い方だけでなく、目と両手を同時に動かしてひとつの運動にする協応性を高め、道具の使い方を身につけていきます。

想像力・創造力を育む

子どもたちは、砂で様々なものを作ります。バケツに砂をつめ、ひっくり返してケーキにしたり、山の下に川を作ったりと、想像をふくらませていきます。子どもが何かを作ったとき、友だちと役割分担をして山やダムを作ったり、池を掘ったり、見られるようになります。トンネルを掘る子、山を高く盛る子、砂を固める子、それぞれが自分の役割を見つけ、いっしょに大きなものに挑み、喜びを共有するのです。保育者が「川を作ってみたら？」などの提案をすると、友だちの意見を聞いてから取り組むことも多くあります。子どもの気持ちを尊重した援助をしていきましょう。

協調性を身につける

自分とは「ごはん」に見立てていたものを、友だちに「ケーキちょうだい」といわれると、見立てを変えていっしょに遊ぶことがあります。友だちとイメージを共有できれば、ごっこ遊びへと発展していきます。

4歳を過ぎると、友だちと役割分担をして山を作るなどの光景が、見られるようになります。トンネルを掘る子、山を高く盛る子、砂を固める子、それぞれが自分の役割を見つけ、いっしょに大きなものに挑み、喜びを共有するのです。保育者が「川を作ってみたら？」などの提案をすると、友だちの意見を聞いてから取り組むことも多くあります。子どもの気持ちを尊重した援助をしていきましょう。



組み合わせ自由

C-WARDROBE 体操服

ラインナップ

色だけでなく、
CuteとCoolの
組み合わせも
自由に選べます。

グレー×白

緑×白

赤×白

紺×白

CUTE

「カワイイ」服をイメージしたラインです。6色をご用意しました。

COOL

「カッコイイ」服をイメージしたラインです。2色をご用意しました。

黒

紺×黄

紺×赤

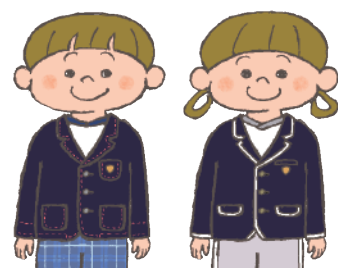
赤

スポーツの対戦にも



年齢が高くなってくると、サッカーやドッジボールなど、球技を経験する機会も増えてきます。色違いの体操服を数枚そろえておけば、ユニフォームとしても使用できます。

様々なシーンにも



同シリーズ「C-WARDROBE」の制服のジャケットを羽織っても似合うデザインに作られているので、制服のインナーとしても着ることができます。

FASHION / 子どもと服装

優しい工夫が
いっぱい
子どもが
思いっきり
遊べる
体操服を

園庭や室内で、思いっきり身体を動かす子どもたち。体操服は、そんな子どもたちの心と身体を守り、遊びをサポートする大切な役割を担っています。ここでは、アイテムを自由に組み合わせることのできるジャクエツオリジナル制服シリーズ、C-WARDROBEの体操服をご紹介します。子どもの成長に配慮した工夫がたっぷりの体操服です。

1

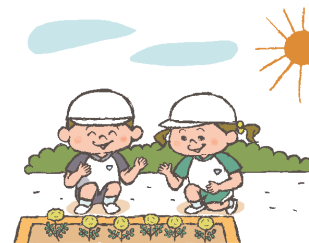
高い遮熱性

太陽からの熱線（赤外線）を効果的に反射し、衣服内の温度上昇を押さえて涼しく保ちます。また、速乾性に優れ、汗をかいてもさらさらで気持ちいい素材です。

3

安心のUVカット

年々増えているといわれるUV（紫外線）を反射し、皮膚がまだ薄い子どもの肌を守ります。



5

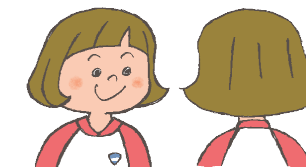
丈長めのクォーターパンツ

丈長で、すそが少し狭めになっているので、激しく動いたり座ったりしても、下着が見えないようになっています。

2

日焼けを防ぐ高めの衿

従来よりも衿を高くしたことで、幅が広くなり、首元の日焼けや、それによる疲労感を減らしました。



4

汚れにくく洗濯が簡単

ついた汚れは洗濯で落ちやすくなっています。白やグレーの生地に、特別な加工を施し、泥汚れだけでなく、油汚れもつきにくくしました。

6

丈夫で動きやすい

通常のポリエステル1.5倍の耐久性があり、引っ掛けにくく、強くても丈夫です。動きやすく着心地のいいストレッチ素材なので、思いっきり動き回ることができます。



〜 エントランスや、水廻りに！ 〜

動物マット

ANIMAL PATTERN MAT

場所にあわせて選べる全6種！



\\ 1月初旬発売予定 //

防汚加工
撥水加工の洗える
足マットです

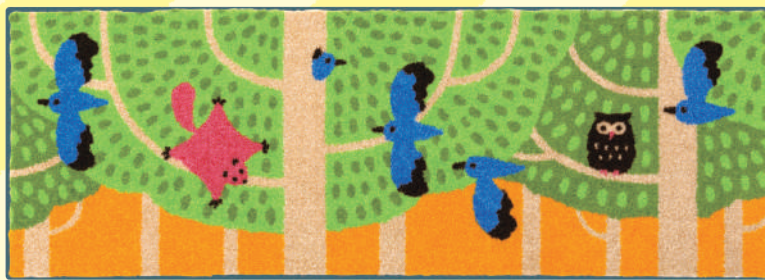
※防災認定商品

COLOR

高耐久・高耐摩耗の色あせしにくい糸に、8色でプリントされたかわいい色のマットです。



90 (くま) / ¥15,120 (税込) サイズ (63×93cm)



180 (とり) / ¥23,760 (税込) サイズ (63×183cm)



150 (しか) / ¥20,520 (税込) サイズ (63×153cm)



120 (うさぎ) / ¥18,360 (税込) サイズ (63×123cm)

BROWN

フローリングにあわせやすく、汚れが目立ちにくい落ちついた色のマットです。



90 (BRぞう) / ¥15,120 (税込) サイズ (63×93cm)



120 (BRやぎ) / ¥18,360 (税込) サイズ (63×123cm)

こども環境の未来をつくる



シャクエツ